

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS J550

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Intel vPro、Xeonは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.2)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.7)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.9)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN 機能などを設定します。
イベントログ (→P.11)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.11)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.12)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language)
	システム日付
	システム時刻
詳細	「シリアルポートコンソールリダイレクション設定」配下の全項目
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定
	起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する (再起動)
	変更を保存せずに終了する (再起動)
	変更を保存して終了する (電源OFF)

メインメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS 版数	
BIOS 日付	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LAN デバイス	
LAN 1 MAC Address	
CPU 詳細	
CPU 名	
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM CHA 3	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM CHA 1	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM CHB 4	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM CHB 2	1MB=1024 ² バイト換算
Open Source Software Licence Information	
言語 (Language)	
☐ English ☒ 日本語	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム日付 01/01/1998～12/31/2100	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力 ・Windows 10／Windows 8.1では、OSが自動的に変更する場合あり
システム時刻 00：00：00～23：59：59	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力
キーボードレイアウト □English(US) □Spanish □French □Brazilian □Dutch □German □Italian □Swedish □Danish □Finnish □Norwegian □Russian ■日本語 □Korean □Chinese	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
オーディオコントローラ ■使用する □使用しない	
CPU設定	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
アクティブコア Core i3の場合 ■全て／□1 Xeon E3の場合 ■全て／□1 □2 □3	
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	※注2
VT-d ■使用しない □使用する	※注2
TXT設定 ■使用しない □使用する	対応CPU搭載時に設定可能 ※注2
SW Guard Extensions (SGX) □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
ドライブ設定	
SATA Port 0	
Port 0 □使用しない ■使用する	
SATA Port 1	
Port 1 □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 2	
Port 2 □使用しない ■使用する	
SATA Port 3	
Port 3 □使用しない ■使用する	
SATA Port 4	
Port 4 □使用しない ■使用する	
SATA Port 5	
Port 5 □使用しない ■使用する	
互換性サポートモジュール設定	
互換性サポートモジュール □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
ネットワークからの起動 □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
TPM（セキュリティチップ）設定	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「有効にする」 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「セキュリティチップ の設定を変更する」を参照
ハッシュポリシー □Sha-1 ■Sha-2	・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「有効にする」 ※注3 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「セキュリティチップ の設定を変更する」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB設定	
USB設定	接続されているUSBデバイスを表示
USBレガシーサポート ■使用する □使用しない □自動	
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	
USBデバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージとHub以外	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「USBポート設定」が「前面と内部のみ有効」 または「背面と内部のみ有効」 または「使用中ポートのみ有効」
System Management	
温度	
CPU	温度センサー（CPU内蔵）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Ambient	温度センサー（Ambient）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Core	温度センサー（Core）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Teutates	温度センサー（Teutates）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Memory	温度センサー（Memory）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
PCH	温度センサー（チップセット内部）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
Graphics	温度センサー（Graphics）の現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
FAN	
CPU	CPU FANの現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
SYS	SYS FANの現在の状態 ⇒『製品ガイド』の「1章 各部名称」を参照
シリアル/パラレルポート設定	
シリアルポート1設定	
シリアルポート □使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ・「シリアルポート」が「使用する」
I/Oアドレスと割り込み ■自動 □IO=3F8h; IRQ4; □IO=3F8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=2F8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=3E8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=2E8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12;	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「シリアルポート」が「使用する」
シリアルポートコンソール リダイレクション設定	
コンソールリダイレクション ■使用しない □使用する	COM0に対するコンソールリダイレクションに関する 設定
コンソールリダイレクション設定	
コンソールタイプ □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Data Bits □7 ■8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Stop Bits ■1 □2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
VT-UTF8 Combo Key Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Recorder Mode ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Resolution 100x31 ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Legacy OS Redirection Resolution ■80x24 □80x25	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Putty KeyPad ■VT100 □LINUX □XTERM6 □SCO □ESC N □VT400	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Redirection After BIOS POST ■Always Enable □BootLoader	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
コンソールリダイレクション □使用しない ■使用する	・インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレク ションに関する設定 ・SOL (Serial Over LAN) セッションの有効時に設定可能
コンソールリダイレクション設定	・インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレク ションに関する設定 ・SOL (Serial Over LAN) セッションの有効時に設定可能
コンソールタイプ □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Data Bits □7 ■8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Stop Bits ■1 □2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
VT-UTF8 Combo Key Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Recorder Mode ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Resolution 100x31 ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Legacy OS Redirection Resolution ■80x24 □80x25	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Putty KeyPad ■VT100 □LINUX □XTERM6 □SCO □ESCN □VT400	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Redirection After BIOS POST ■Always Enable □BootLoader	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AMT設定	
ME版数	
Intel AMT BIOS Extention □使用しない ■使用する	
AMT USB プロビジョニング □使用しない ■使用する	
AMT/ME 設定のクリア ■使用しない □使用する	
ME セットアップ ■Normal □Enter MEBx Setup	
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない □使用する	・ご購入時は、Windows 10/Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される
IPv4環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」
IPv6環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」
内蔵ビデオ設定	
内蔵ビデオ設定	
プライマリディスプレイ ■自動 □内蔵ビデオ □PCI Express for Graphics (PEG) □PCI Express (PCIe)	
内蔵ビデオ ■自動 □使用しない □使用する	
Intel(R) Ethernet Connection I219-LM	・オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用する」 ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：本ワークステーションにこの機能の動作が確認されたソフトウェアを搭載していない場合は、「使用しない」に設定してください。「使用する」に設定した場合の動作保証はできません。

注3：本設定を変更すると、セキュリティチップで保護されたデータなどは利用できなくなります。本設定を変更する前に保護を解除してください。

セキュリティメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード設定	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 ☐ 毎回 ☐ 最初のみ ☒ 使用しない	・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・毎回 … 本ワークステーションの起動時ごとに、パスワード入力进行を要求 ・最初のみ … 本ワークステーションの電源を入れたときのみ、パスワード入力进行を要求 ・使用しない … 本ワークステーションの起動時に、パスワード入力进行の要求なし ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時のパスワードスキップ ☒ 使用しない ☐ 使用する	・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・使用しない … 自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力进行を要求 ・使用する … 自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力进行の要求なし ・ハードディスクパスワードの入カスキップは不可
システムファームウェア更新機能 ☐ 使用しない ☐ 使用する（制限付き） ☒ 使用する	
起動時のHDDパスワード入力 ☒ 使用する ☐ 使用しない	・ハードディスクパスワード設定時に設定可能 ・使用する … 本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力进行を要求 ・使用しない … 本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力进行の要求なし ・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力进行の要求なし ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
〔ハードディスクドライブ名〕	・ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない。
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	・「セキュアブート機能」が「使用する」時の設定状態を表示 ※「セキュアブート機能」が「使用しない」に設定されているときは、次のように表示されます。 ◆BIOS版数が「R1.20.0」以降の場合、「使用しない」 ◆BIOS版数が「R1.20.0」より前の場合、「使用する」
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・ご購入時はWindows 10／Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される ・本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更される （必要に応じて起動順位を設定し直し） ※注1 ※注2
署名情報設定 ■標準 □カスタム	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」 ◆「署名情報の初期化」が「使用する」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Platform Key	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized SignaturesTimeStamps	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）およびWindows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。

注2：Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 10を起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【】 + 【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
AC通電再開時の動作 □電源OFF □電源ON □自動 ■使用しない	・ 設定変更は再起動後に有効 ・ 電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・ 自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
待機時の省電力 □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
ウェイクアップ設定	
LAN ■使用しない □使用する	・ 設定変更は再起動後に有効 ・ 別売のLANカードでWekeup on LANを使用する場合は、「待機時の省電力」を「使用しない」に設定すること ※注2 ※注3 ※注4 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「LAN」が「使用する」
内蔵LANによるウェイクアップ	表示のみ
拡張LANによるウェイクアップ	表示のみ
時刻	
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注5
時 0～23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
分 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
秒 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
モード □毎週 ■毎日 □毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
日曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
月曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
火曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
水曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
木曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
金曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
土曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
日 1～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎月」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注2：Windows 10およびWindows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注5：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

イベントログメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定	
イベントログ ☐ 使用しない ☒ 使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 ☒ いいえ ☐ 次回起動時に消去します ☐ 毎回起動時に消去します	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」－「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ☒ 何もしない ☐ すぐに消去する	
イベントログの表示	⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」－「イベントログを確認する」を参照

起動メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ☒ On ☐ Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
起動エラー時の動作 ☐ 起動を続ける ☒ キー押下まで待つ	※注1
キーボードエラー検出 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 ☐ 標準 ☒ 最上位 ☐ 最下位	
起動メニュー ☐ 使用しない ☒ 使用する	
リムーバブルメディアからの起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	・ OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注2 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n	nは起動の順位を示す ・ Windows 10／Windows 8.1の場合、ご購入時は次のように設定 #1: P1: [HDDデバイス名]: Windows Boot Manager #2: UEFI: IPv4 [LANデバイス名]^{注3} #3: UEFI: IPv6 [LANデバイス名]^{注3} ・ Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定 #1: P1: [HDDデバイス名] #2: P2: [CD/DVDドライブ名] #3: [LANデバイス名] ・ カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる ・ 「CD/DVD ドライブ」は CD/DVD デバイスが接続されている場合に表示 ・ 「UEFI: [CD/DVDデバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・ UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定すること ・ 起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加される ・ UEFI アプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：本設定を「使用しない」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注2：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

注3：LANケーブルが接続されている場合に表示されます。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・ 言語 (Language) ・ システム日付 ・ システム時刻 ・ キーボードレイアウト ・ 管理者用パスワード ・ ユーザー用パスワード ・ ハードディスクパスワード ・ 起動デバイスの優先順位 ⇒『製品ガイド』の「5章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
強制起動	
起動デバイス名	